

2018 11/27

No.2079

毎月第2・第4火曜日発行

政経かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



横浜FCは17日、甲府を1ー0で下し、2008年のJ2降格後では最高の3位で今期を終えた。12月2日に行われるJ1参入プレーオフ2回戦で大宮一東京Vの勝者と対戦する。



contents

視点・点描	3
子ども社会も「不寛容」	
講演録	4
米中貿易戦争と日本企業のグローバル戦略のあり方 東京財団政策研究所首席研究員 柯 隆	
国際	8
トランプ氏再選に黄信号 米中間選挙、与党が手痛い敗北	
デモクラシーの現場から 第1回	10
首相恐れるレームダック	
文化	12
樹木希林とは何者であったのか 「自己演出の達人」貫く	
くらし2018	14
難しい原因不明の歯痛	
アジアの風	16
平和の配当	
NNAアジア経済リポート	17
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

事務局だより

◇2018年12月定例講演会
=シンポジウム・交流会

2018年12月10日(月)
横浜ベイシェラトンホテル＆
タワーズ

△シンポジウム

午前11時～午後0時30分、4
階「清流Ⅱ」
パネリストは共同通信社の松
浦基明・政治部長、高橋直人・
経済部長、近澤守康・外信部
長、山田昌邦・皇室取材チー
ム長。コーディネーターは神奈
川新聞社の林義亮・取締役論
説主幹

演題は「2019年の動向を読む」

△交流会

午後0時40分～1時40分、4階
「清流Ⅰ」

◇2019年1月定例講演会

2019年1月30日(水)

午後1時30分～3時
ホテルモントレ横浜3階「ビク
トリア」

講師は富士通(株)常務理事、
首席エバンジェリストの中山五
輪男(なかやま・いわお)さん
演題は「人工知能(AI)とビジ
ネス新時代」

【お知らせ】神奈川政経懇話会では
ホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設け
ました。新商品の紹介、地域貢
献活動、人事などジャンルを問わ
ずさまざまな情報を掲載します。
問い合わせは事務局☎045(226)
2121。

視点

点描



子ども社会も「不寛容」

小学生の暴力行為が増加している。県教育委員会がまとめた問題行動等調査から明らかになった。世の子どもの世界だけではない。世の中の風潮として、人間関係のトラブルが目につく。「不寛容」がキーワードとなるような社会であつてはならない、との警鐘と受け止めたい。

県内公立小中高校で2017年

度に起きた暴力行為は、前年度比1218件増の9413件で、過去最多を更新した。うち小学校は5673件に上り、3年連続増加した。

より深刻なのは、暴力行為を5回以上繰り返す児童が急増していることだ。前年度より41人増え、横ばいから増加に転じた15年度の2倍ほどになった。177人が起

学年別の加害児童・生徒数の推移をみると、小学1年から中学1年までは各学年で増加している一方、中学2～3年で減少している。県教委では「丁寧に指導することで、自分の感情を制御するなど適切な人間関係を築く力が育つ。

関係機関とも連携し、背景を探りながら指導、必要な支援を粘り強く続けることが大切」としている。

こした暴力行為の総数は1814件に上り、小学校での件数全体の3割強を占めた。

理由として考えられる要因は何か。小学校による複数回答によると、「粗暴的な性格」(85・3%)、「規範意識が低い」(75・7%)が多くったが、「友達との人間関係をうまく構築できない」(72・9%)、「家族関係のストレス」(54・2%)、「授業を理解できない」(37・9%)など、児童が家庭や学校で問題を抱えている様子も浮かんでくる。

「一人一人がかけがえのない存在であり、それぞれが基本的な人権を持つてることを理解し、自分の人権とともに他の人の人権も尊重する心を育むことが大切です」。人間関係づくりに向けて、県教委が掲げる指針の一つだ。教育現場にとどまらない。パワーハラスメント対策などが求められている大人社会にも、共通する課題である。

(神奈川新聞社報道部編集委員)

藤塚 正人